研究課題名

腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究

(1) 研究の概要

研究期間：倫理委員会承認後（2021 年 11 月 15 日） ～ 2023 年 3 月 31 日

研究代表者：日本医科大学 病理学（解析人体病理学）教室 清水章

実務担当責任者：川崎幸病院 腎臓内科 宇田晋

(2) 研究の対象

当院において診断のために行われた腎生検検体で、希少 6 腎疾患 Castleman 病・クドウ深瀬症候群・TAFRO 症候群 / 原線維性糸球体腎炎・イムノタクトイド糸球体症 / IgA 沈着による膜性腎症 / 高リン脂質抗体症候群 / クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 / Light chain proximal tubulopathy) と診断された症例を対象とする。

(3) 研究の目的

上記希少 6 腎疾患の症例を国内の多施設より持ち寄ることで、病理学的特徴と臨床的診断との関連を明らかにする。

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

診断のために行われた腎生検検体の内、希少 6 腎疾患と診断した症例を集積し、日本腎病理協会にて各疾患の特徴を臨床病理学的に解析して考察する。臨床情報（年齢、性別、背景疾患・腎機能や尿所見など）に関する情報は、電子カルテより入手し、病理学的所見と臨床所見との相関や疾患の臨床病理学的特徴を検討する。病理所見の解析は必要に応じて腎生検検体（ホルマリン固定パラフィン 包埋ブロック、凍結組織、電顕用グルタルアルデヒド固定エポキシ包埋ブロック）から新たに標本を作製して再評価し、免疫染色・質量分析などによる組織・分子レベルでの解析を行う。また、whole slide imaging で病理スライドをデジタル画像化し、病理画像解析ソフトにより、artificial intelligence (AI) を応用し解析する。

(5) 個人情報保護について

個人名の消去、カルテ番号消去、検体番号の消去など個人情報の匿名化をすでに行ったもので研究を行うため、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部
(川崎幸病院 倫理委員会 事務局)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27
TEL : 044-544-4611 (代表)